

報道関係者各位

2026年4月28日
株式会社オーケーウェブ

GRATICA、前野隆司教授インタビューを公開 ～ウェルビーイングの本質と組織実践を前後編で紐とく～

「社会のウェルビーイング向上のため、世界中の『ありがとう』の物語を蓄積し、可視化する」をパーパスに掲げる株式会社オーケーウェブ（東京都港区、代表取締役社長：杉浦 元、以下「オーケーウェブ」）は、クラウド型サンクスカード「GRATICA」にて、前野隆司教授へのインタビュー記事を公開しました。

本インタビューでは、前編でウェルビーイングの本質や「幸せに気をつける」という考え方を、後編で組織における実践のあり方やAI時代における人間らしい価値を取り上げています。GRATICAは、日々の感謝の積み重ねを通じて組織のウェルビーイング向上と生産性向上に寄与することを目指しており、本インタビューは、その考え方をより深く伝える内容です。

[「健康に気をつけるように、幸せにも気をつける」
幸福学の第一人者・前野隆司教授が語る、ウェルビーイングの本質](#)



公開の背景

GRATICA は、日常の「ありがとう」を蓄積・可視化し、社内コミュニケーションの活性化や対話の促進、組織力の向上を支援するクラウド型サンクスカードサービスです。

また、ウェルビーイングが高まることで生産性向上にもつながるという考えのもと、GRATICA は日々の感謝の積み重ねを通じて組織のウェルビーイング向上を支援しています。前野隆司教授には、こうした考え方を支える存在として監修をいただいています。

今回公開したインタビューは、GRATICA が大切にしてきた「ありがとう」や「つながり」と、ウェルビーイングとの関わりをより深く伝えるためのものです。

インタビューの内容

前編：[「健康に気をつけるように、幸せにも気をつける」幸福学の第一人者・前野隆司教授が語る、ウェルビーイングの本質](#)

前編では、ウェルビーイングを一時的な感情ではなく、身体・心・社会的つながりが満たされた持続的な状態として捉え、その本質をひもといています。あわせて、「健康に気をつけるように、幸せにも気をつける」という考え方や、前野教授が提唱する「幸せの4因子」についても取り上げています。

後編：[制度より先に「魂」を入れよ。前野隆司教授が語る、ウェルビーイング経営の本質とAI時代の幸せ](#)

後編では、ウェルビーイング経営を形だけで終わらせないために何が必要かをテーマに、制度やKPIに先行するのではなく、挨拶や感謝、対話といった日常の文化を育てることの重要性を取り上げています。また、AI時代において高まる人間らしい価値についても触れ、個人と組織の両面からウェルビーイングの実践を考える内容となっています。

前野隆司教授について



前野隆司教授は、武蔵野大学ウェルビーイング学部長・慶應義塾大学名誉教授。幸福学・ウェルビーイング研究の第一人者として、GRATICAの監修をいただいています。

クラウド型サンクスカード「GRATICA」について

「GRATICA」は、オンライン上のサンクスカードを通じて、従業員同士が感謝や称賛の気持ち

を伝え合えるクラウド型サンクスカードサービスです。日常の「ありがとう」を蓄積・可視化することで、社内コミュニケーションの活性化や対話の促進、組織力の向上を支援します。また、サンクスカードにポイントを付与することで、福利厚生施策の一環として活用することも可能です。

<https://gratica.jp/>

株式会社オーケーウェブについて

株式会社オーケーウェブ（証券コード：3808）は、「社会のウェルビーイング向上のため、世界中の『ありがとう』の物語を蓄積し、可視化する」ことをパーパスに掲げ、お互いを助け合う（互助）プラットフォームの運営と、互助の絆や関係性を作るサービスを提供。

Q&A形式のコミュニティサイト『[OKWAVE](#)』の運営を軸に、ユーザー参加型のサポートコミュニティ『[OKWAVE Plus](#)』を企業や地方自治体向けに提供するほか、700社以上の導入実績のあるクラウド型サンクスカード『[GRATICA](#)』を展開しています。

また、メディアサービスでは『[OKWAVE media](#)』を中心に、強いドメインパワーを活かした記事制作・配信を展開し、企業や団体の広報・PR活動を支援しています。

代表者：代表取締役社長 杉浦 元

本社所在地：東京都港区新橋3丁目11-8 オーイズミ新橋第2ビル702

URL：<https://okweb.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社オーケーウェブ

事業推進グループ

E-mail：gratica_biz@okwave.co.jp

当社は、今後も互い助け合いをベースとしたコミュニティのDX化を通じて、様々な社会課題の解決や地域の発展に寄与するサービスを提供してまいります。

※記載された商品名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ここに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。